

令和元年6月28日（金）

「空白地域解消推進協議会」事例発表

広島県 江田島市

「日本語クラブ」の取組と今後の課題について

～「地域日本語教育スタートアッププログラム」活用・終了報告～

広島県 江田島市市民生活部 人権推進課
課長 山本 幸雄

江田島市の概要

～ 協働と交流で創りだす『恵み多き島』 えたじま ～

- 1 人口 23,089人(R1.6.1現在)
- 2 位置 広島県南部の島しょ部(江田島、能美島)の自治体
広島市からは海路7.5km 高速船で30分
呉市とは2つの橋で陸続き、高速船で10分
広島市・呉市への通勤、通学者も多い
- 3 面積 約100 km²、長い海岸線
- 4 特産品 「海と陸の恵み」
「海の恵み」全国有数の牡蠣の産地、H29(2017)年 牡蠣生産量日本一、他にも海産物など
「陸の恵み」花、野菜、かんきつ類など、オリーブ栽培は「地域活性化」の取組のひとつ
イタリア「マスター オリーブオイル インターナショナル コンテスト サンレモ2019」
において、江田島市のオリーブ(会社)製品が2部門において1位、総合成績2位
- 5 その他 温暖な気候で過ごしやすい生活環境

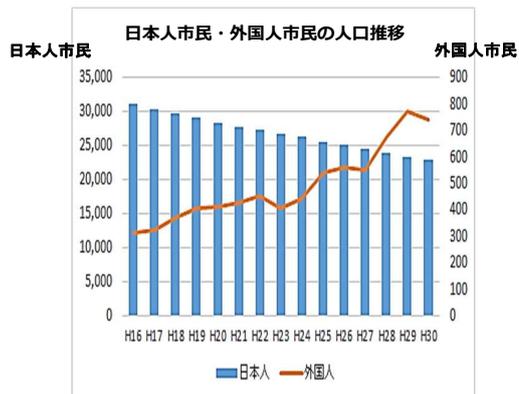
1 日本語教育の状況

(1) 江田島市住民数（令和元年6月1日）

町別人口	外国人市民	日本人市民	外国人比率
江田島町	186	8,012	2.27
能美町	159	4,902	3.14
沖美町	275	2,826	8.87
大柿町	116	6,613	1.72
総計	736	22,353	3.19



(2) 人口の推移



2

(3) 外国人市民の在留資格別人口

国籍・地域名	永住者・定住者等	家族滞在	技術・人文知識・国際業務	技能実習1号口	技能実習2号口	技能実習3号口	特定活動	その他	総計
ベトナム		1	2	60	111	6	11	1	192
フィリピン	140	5	7		6			11	169
中国	5			62	76	10		3	156
インドネシア			1	46	42	4	45		138
バングラデシュ					17				17
ミャンマー			6	5	6				17
その他	12				5			30	47
総計	157	6	16	173	263	20	56	45	736

3

(4) 外国人市民集住地域など～地域差について～

- ・水産業、造船業などの**企業が立地する地域に集住傾向**

沖美町・三吉地区～美能地区

能美町・高田地区

江田島町・宮ノ原地区

- ・水産業の中でも牡蠣の生産に関わる外国人市民
比率は日本人市民より多い会社も・・・

(5) 外国人市民に対する施策

- ・多文化共生プランの策定を検討中

(6) 日本語教育に対する取組の状況・課題

- ・外国人市民が増加との認識はあったが、外国人の日本語教育については企業・監理団体等が日本語習得をサポートするものとの認識であり、特に必要性があるとは考えていなかった。
- ・平成25年3月、外国人市民による殺傷事件を契機に、**外国人市民に対する日本人市民の「不安の増大」「怖い」という意識の表出**に伴い、**日本人市民の安心安全のために、外国人市民の支援を始める。**
- ・市内全域(各町)での日本語クラブの開催と、開催場所までの交通アクセス・手段の確保が最大の課題

4



2 地域日本語教育の体制整備に向けたこれまでの取組と経緯

(1) 平成28年度

- ・外国人市民の生活状況、課題、ニーズの把握、開催場所や日時等の検討
- ・日本語教育指導者、運営ボランティア養成講座(人材発掘・養成・確保)
- ・日本語クラブ(教室)開設に向けての意思統一(人権推進課、一部の民間ボランティア団体)

(2) 平成29年度

- ・市内ショッピングセンターで日本語クラブ開設(毎月2回:第1・3日曜日)
- ・学習は、試行錯誤の結果、個別支援にて実施⇒日本人スタッフの外国人市民への個別対応
- ・個々のニーズ、課題の把握⇒参加者が自由に個別学習
- ・当初の懸念⇒スタッフの不安感、指導経験の有無←アドバイザーの助言、フォローアップ等
- ・日本語クラブ開催を重ねるごとに、当初の不安感から自信へと変化
- ・日本語クラブ開催後、月2回の日本人スタッフによるミーティング

(3) 平成30年度

- ・日本語クラブ2年目で相互交流が深まるにつれ**「教える／教わる」側との考えは、日本人の一方向的で「傲慢」な発想**であり、日本語クラブでの指導を通して、外国の異文化、価値観、習慣など、多くの「気づき」と「学び」を発見、**双方向の「学習の場」との認識**に
- ・日本人参加者の意識の変化に伴い、**異文化適応能力の向上**



5

3 地域課題とその解決に向けた「連携事業」

(1) 地域の課題

- ・外国人に対する**心の壁** ⇒ 偏見や先入観, 思い込み・・・
- ・**欧米先進国とアジア各国の外国人に対する意識の温度差**
- ・「顔の見える定住化」から**「顔のつながる定住化」**へ
⇒ **Face to Face** による顔のつながる関係性の構築
- ・「異なる背景」と「違い」を前提とした
⇒ 対等・平等, フラットな関係性の構築
- ・外国人市民が地域社会から感じることがある**「まなざし」**の克服 ⇒ 意識啓発
- ・外国人市民との共生に興味・関心を示さない, 拒否反応を示す日本人市民



(2) 地域日本語教育における県・市町及び関係団体の役割分担

① 江田島市の取組

- ・江田島市国際交流協会の事務局担当（人権推進課）と、江田島市国際交流協会のフォローアップ
- ・多様な人権課題の一つとして、**「外国人の人権」の人権啓発活動**の実施

② コーディネーターの動き, アドバイザーの助言等

- ・日本語クラブ運営委員会（事務局オブザーバー参加）と、**外部検証委員会**の設置

③ 日本語教育事業の運営体制

- ・主催：江田島市国際交流協会
- ・運営：一般社団法人 広島湾地域資源ネットワーク(業務委託契約)